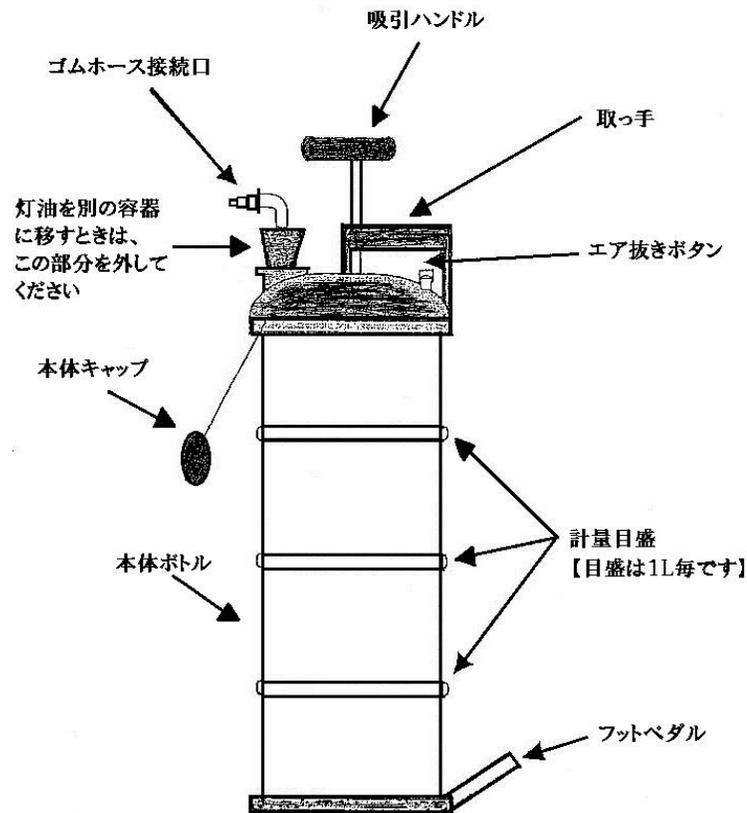


本体各部名称



【注意事項】

- ・本体に抜き取った灯油を他の容器に移す場合、少しずつ傾け方を大きくしてください。傾けた際にエア抜きボタンに灯油が触れると、ボタン部分から溢れ出る事があります。
- ・傾け過ぎた場合、ポンプ内部に灯油が入り込み、底から灯油が漏れ出る事がありますが、故障ではありません。ポンプ内部に入り込んだ灯油が全て抜けきると漏れが止まります。
- ・本体に大きな衝撃を与えないでください。破損する恐れがあります。
- ・吸引ハンドルと取っ手の間に手を挟めない様、ご注意ください。
- ・抜き取った灯油は本体に保存せず、作業後に処理してください。
- ・ピストンしすぎると、吸引が始まらないことがあります。その場合、エア抜きボタンを押し、一度圧力を下げてください。

取扱説明書

この商品は、本体内部を真空状態にすることにより灯油配管内に溜まった空気を吸引し、同時に灯油を抜き取るものです。

※使用方法・注意事項をよく読んでからご使用ください。

【使用方法】

使用前に灯油タンクに灯油が入っていることを確認してください。

1. 灯油タンクのストレーナー内にエアが入っている場合は、カップリングを緩めエア抜きを行ってください。
(灯油をこぼさない様にウエス等をあててよく拭き取ってください。)
2. 建物内の、エア抜きが必要な灯油コックまたはパイプに付属の灯油ホースを差し込みます。
燃焼機器が接続されている場合は、灯油コック側を外して差し込みます。
(灯油がこぼれる場合がありますので、ウエス等をあててください。)
※吸油口がしっかり接続されている事を確認してください。
3. 作業対象以外の灯油コックが閉まっている事を確認後、吸引ハンドルを10回程度上下にピストンして本体ボトル内部を真空状態にします。
※途中にドリップメーターが設置してある場合はエア抜きボタンを押しながらピストンしてください。
(吸引力が強いため、メーターが能力以上に回転し故障する可能性があります。)
4. 数回ピストンした段階で本体ボトルに灯油が入り始めます。1ℓ程度溜まったらエア抜きボタンを押し続け、吸引を終了させてください。その後、対象の灯油コックを閉め、付属のゴムホースを外します。
(灯油がこぼれる場合がありますので、ウエス等をあててください。)
5. 燃焼機器のゴムホースを灯油コックに接続し、漏れが無い事を確認してエア抜き完了です。
必要に応じて点火試験を行ってください。
6. 他にエア抜きが必要な箇所がある場合は、2以降の作業を繰り返し行ってください。
7. 本体に溜まった灯油は、吸油口を取り外して灯油タンクに戻す事が可能です。水・スラッジ等が混入していないか確認した上で行ってください。灯油タンクに戻さない場合は、適切な処理方法で処分してください。なお、本体に灯油が溜まっている状態で持ち運びする場合は、傾けない様に注意してください。灯油がこぼれる事があります。

※抜き取った灯油を廃油として処理する場合は、産業廃棄物として処分してください。

※配管途中にオイルサーバーまたは定油面器が設置してある場合は、灯油が一定レベルまで満たされている事を確認の上、作業を行ってください。